



猛暑の季節をのりこえて！

今年の夏は本当に厳しい気候が続きましたね。そんな中、子どもたちのために頑張ってくださいました給食の調理師さん、用務員さん、安全管理員さん、地域の見守りボランティアの皆さま、そして全ての関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、朝夕の風によろやく待ちに待った秋の気配が漂ってきました。この季節、いつも不思議に思うことがあります。それは、誰も知らせないのに出てくる彼岸花たちです。葉っぱより先に花芽が伸びてくるので、気がついた時にはそこに咲いている、まるで忍者のような彼岸花たちが、今年もつきやまに顔を出し始めました。



さて、9月のはじめに夏休み作品展を開催しました。その中から立北小の代表として、いくつかの作品が市の作品展に出品されました。



それ以外にもキラリと光る力作がいくつもありましたので、『あっぱれ！がんばったで賞!!』として、校長室前のケースに飾っていますので、来校された際にはぜひご覧ください。

『立北の顔』がんばってきました

9月18日～19日の2日間、両日も35℃を越える厳しい暑さの中、6年生が愛知・三重への修学旅行に行ってきました。めあての「完全燃笑(遊ぶときは全力で！全員が笑顔で過ごす)」の実現に向けて、友だちと相談し、水分補給や休憩もうまく取り入れながら、全員無事に帰ってきました。鈴鹿での最後の集合は、もう少し遊びたいという気持ちをグッと堪えて、全てのグループが時間通り集合することができました。「さすが6年生！」と感心しました。今後の学校生活でもよき手本となって頑張ってくれることと思います。



全燃笑(遊ぶときは全力で！全員が笑顔で過ごす)」の実現に向けて、友だちと相談し、水分補給や休憩もうまく取り入れながら、全員無事に帰ってきました。鈴鹿での最後の集合は、もう少し遊びたいという気持ちをグッと堪えて、全てのグループが時間通り集合することができました。「さすが6年生！」と感心しました。今後の学校生活でもよき手本となって頑張ってくれることと思います。



三つのお願い

「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、10月に入ると、一気に日が暮れるのが早くなってきます。ヒトの心と体は、太陽の光に大きく影響を受けるため、日照時間が急激に減るこの季節、大人も子どもも心が不安定になりがちです。そこで3つのお願いです。【一つ目】読書、スポーツ、芸術、味覚…等々、ご家族で秋の楽しみに触れる機会を持ってください。【二つ目】夜更かしは避けて、しっかりと睡眠時間をとらせてください。特に体が大きくなる時期は、心にも体にもたくさんのエネルギーが必要です。十分な睡眠で疲れた脳を修復させてください。【三つ目】お子さまの話に耳を傾ける時間を少し多めにとってください。例えよくないお話であっても、心配な気持ちはグッと堪えて穏やかに聴いてあげてください。子どもたちは学校で頑張っていますから、頑張らなくてすむお家で何でも話ができる環境が必要です。心配なことがありましたら、その後、学校へお知らせください。担任だけでなく、学校全体で共有して見守らせていただきます。

